

2019年 8月22日

地方連盟 御中

日本勤労者山岳連盟

理事長 浦添嘉徳

自然保護委員長 竹本幸造

『2019年度全国自然保護担当者会議』実施要項

世界各国・各地で異常高温・降雨・乾燥・台風の大型化など異常気象現象が多発している。気候変動における政府間パネル（IPCC）による評価報告書によると、気候システムの温暖化は疑う余地がないとして、人間の影響による可能性が極めて高いことを指摘している。これは、地球規模で温暖化が進み地球が病んでいることを示しているものである。

日本各地で大規模な自然災害が多発し、その規模はかつての災害とは比べようも無いものである。各地で、今まで長年生きてきたが、経験したことが無い想像を絶する災害であったという古老の話を耳にします。また、海洋中のプラスチックごみ汚染は、循環経済の『見える化』指標であり、フィリピンミンダナオ島で今年3月死亡したクジラの胃から40kgものプラごみが回収された。消化されないプラごみで胃が一杯になり餌を食べられず衰弱死したもので、他にも魚・亀・海鳥等の海洋生物が深刻な被害をこうむっている。海を汚染するプラごみの排出量は3億トン。うち、47%がペットボトルやレジ袋だ。日本人の1人あたりのプラスチック廃棄量は世界で2番目だという。

国内では、自然や環境破壊を伴うリニア新幹線計画・四国剣山系への巨大風力発電、全国的にひろがるメガソーラー発電計画、原発再稼働、新たな沖縄県辺野古への米軍基地建設による海の埋め立てなどに見る様に『一部の企業の儲け』『政治的な経済政策』のために太古からの自然環境が著しく破壊されようとしている。このツケは子や孫の代に負の遺産として引き継がれることになる。

このようななか、労山自然保護憲章の立場から、山岳人として豊かな山岳自然を守り次世代に引き継ぐことは喫緊の課題となっている。

全国労山は、下記の日程で全国自然保護担当者会議を開催し、労山自然保護憲章に示された内容の実践について議論していくことが重要な課題になっている。山岳自然から恩恵を受けている登山者・登山団体が何をなすべきか、また何ができるのか考える機会にしたいと考えている。各地方連盟から積極的な参加を要請します。

記

1. 会議日程・概要

日程・会場

日 程：2019年11月16日(土)～17日(日)

会 場：全国労山事務所1階会議室

概要 11月16日(土)13:00～18:00 5時間

理事長挨拶

講 演「南アルプスの魅力とリニア問題について」

講演者：服部 隆氏「南アルプスとリニアを考える市民ネットワーク共同代表」

各地方連盟からの報告

全体質疑討論

18時30分から夕食及び交流会

概要 11月17日(日)08:00～11:30 3.5時間

「自然保護憲章の内容の実践」・地方連盟からの報告

全体討論、まとめ、閉会挨拶

*会議終了後、駅頭にてリニア反対署名、「南アルプスの自然を守ろう」訴えのパフォーマンス

2. 参加費用について

各地方連盟1名分の交通費は、全国連盟が負担。宿泊費は、各地方連盟負担となります。
なお、出来るだけ交通費が軽減されるよう早めの手配をお願いします。

16日の夕食・交流会費として2千円をご負担下さい。

宿泊については、寝袋を持参して戴ければ、全国連盟事務所に宿泊できます。

それ以外は、各自近くのホテル等検索し宿泊をお願いします。

3. 参加申込み問合せ先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

日本勤労者山岳連盟 自然保護部あて

e-mail: jwaf@jwaf.jp

Fax ; 03-3235-4324 03-3260-6331

自然保護部事務局長 林 祥介 080-2006-2073

” 委員長 竹本幸造 090-7309-8669

4. 参加申込み

別紙申込み様式にてFAXまたはE-mailにて全国連盟事務局まで提出下さい

【参加申込様式】

参加申込書

11/16～17全国連盟自然保護担当者会議に下記の通り参加します

地方連盟 _____

役職	氏名	所属会	携帯電話	E-Mail	F a x

* 出席の場合・宿泊について

- 1 . 全国連盟事務所泊希望
- 2 . 自分で手配

申込み〆切 2019年10月25日(金)

E - m a i l : jwaf@jwaf.jp

F a x : 03 - 3235 - 4324